

# ウオダス 漁海況速報 No.1512

発行日 平成 18年 10月 6日 <http://www.applenet.jp/aosui/>  
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778  
 住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384-37

10月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

●対馬暖流の勢力は平年並み  
 (青鵬丸による10月分日本海観測結果)  
 ●対馬暖流域の表面水温はやや高めで経過する。(日本海海況予報)

**小 泊** (10月1~5日)

スルメイカ	一本釣	141隻	54,580kg
ウスメバル	一本釣	102隻	1,799kg
クロマグロ	延 縄	51隻	3,177kg

**三 厩** (10月1~5日)

スルメイカ	一本釣	21隻	6,990kg
クロマグロ	一本釣	80隻	4,285kg
ウスメバル	一本釣	1隻	9kg
アブラツノザメ	延 縄	1隻	439kg

**尻 労** (10月1~5日)

ブ	リ	定置網	2隻	120kg	
ワ	ラ	サ	定置網	2隻	50kg
イ	ナ	ダ	定置網	6隻	2,557kg
サ	ケ	定置網	13隻	2,864kg	

**下 前** (9月26~30日)

スルメイカ	一本釣	61隻	23,475kg
ウスメバル	一本釣	9隻	176kg

**平 館** (10月1~5日)  
定置網 25隻

マイワシ		473kg
ア	ジ	51kg
イ	ナ	22kg
タ	イ	33kg
スルメイカ		1,042kg
ヤリイカ		85kg

**白 糠** (9月26日~10月5日)  
(取りまとめ中)

**八 戸** (10月1~5日)

スルメイカ	一本釣	40隻	4,684kg		
サ	バ	まき網	34隻	8,184,452kg	
サ	ケ	他	定置網	39隻	148,347kg

**鰺ヶ沢** (10月1~5日)

スルメイカ	一本釣	5隻	2,135kg			
(3,215kg)	底曳網	2隻	1,080kg			
タ	イ	一本釣	9隻	122kg		
クロマグロ(丸)	延 縄	11隻	943kg			
(990 kg)	一本釣	4隻	47kg			
メジマグロ	一本釣	1隻	9kg			
ワ	ラ	サ	一本釣	7隻	563kg	
(665 kg)	延 縄	5隻	102kg			
ウスメバル	一本釣	2隻	5kg			
ヤ	リ	イ	カ	底曳網	2隻	30kg
サ	ケ	定置網	7隻	708kg		

**佐 井** (9月16日~10月5日)  
(取りまとめ中)

**大 畑** (10月1~5日)

スルメイカ	一本釣	132隻	15,630kg			
(16,545kg)	定置網	5隻	915kg			
クロマグロ	延 縄	7隻	2,300kg			
タ	イ	定置網	9隻	9kg		
ブ	リ	定置網	11隻	1,360kg		
(1,371kg)	一本釣	2隻	11kg			
サ	ケ	定置網	11隻	2,652kg		
ヤ	リ	イ	カ	定置網	10隻	67kg
		底建網	1隻	1kg		
ウスメバル	一本釣	3隻	52kg			
サ	バ	定置網	5隻	163.0kg		
マイワシ	定置網	2隻	3.7kg			

**大 戸 瀬** (10月1~5日)

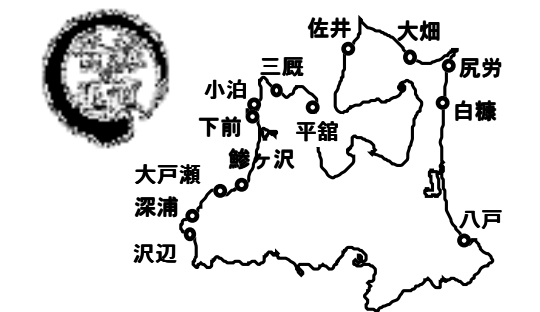
スルメイカ	一本釣	8隻	1,890kg	
タ	イ	定置網	9隻	10kg
(94 kg)	刺 網	2隻	2kg	
	一本釣	10隻	82kg	
ブ	リ	定置網	23隻	48kg
(980 kg)	一本釣	11隻	932kg	
クロマグロ	延 縄	5隻	1,048kg	
(1,055kg)	定置網	3隻	7kg	
サ	ケ	定置網	73隻	2,810kg
(2,813kg)	一本釣	1隻	3kg	
サクラマス	定置網	1隻	2kg	

**沢 辺** (10月1~5日)

クロマグロ	延 縄	6隻	726kg
クロマグロ(ヌキ)	延 縄	6隻	520kg
メジマグロ	延 縄	3隻	228kg

**深 浦** (10月1~5日)

スルメイカ	一本釣	7隻	965kg
-------	-----	----	-------



**主要魚種の動き**

○スルメイカ (一本釣・10月1~5日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(5月~)	昨年同期比
小 泊	54,580kg	140%	1,384,221kg	199%
下 前	23,475kg	-	874,545kg	176%
鰺ヶ沢	2,135kg	187%	181,100kg	240%
深 浦	965kg	18%	328,850kg	199%
(津軽海峡)				
三 厩	6,990kg	75%	176,941kg	98%
大 畑	15,630kg	109%	715,465kg	61%
(太平洋)				
八 戸	4,684kg	23%	816,520kg	31%

下前は9/30まで

○クロマグロ (全漁法・10月1~5日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(5月~)	昨年同期比
小 泊	3,177kg	389%	79,690kg	167%
鰺ヶ沢	999kg	228%	21,862kg	238%
沢 辺	1,474kg	2541%	3,098kg	63%
(津軽海峡)				
三 厩	4,285kg	142%	50,799kg	131%

○サバ (まき網・10月1~5日)

(太平洋)	今回	前回比	漁期累計(7月~)	昨年同期比
八 戸	8,184,452kg	204%	38,956,167kg	276%

## ◎大型クラゲ情報

- 青森県内では、日本海側・津軽海峡・太平洋側で出現が確認されました。
- ・9月27日~10月1日、日本海側の小型定置網5ヶ統にそれぞれ1~2個体(傘径50~100cm)が入網したほか、10月1日に沖合で1個体(傘径50cm)を目撃。
- ・9月25~26日、津軽海峡の定置網及び小型定置網各1ヶ統にそれぞれ1個体(傘径80~90cm)が入網。
- ・9月26日~10月2日、太平洋側の小型定置網9ヶ統にそれぞれ1~15個体(傘径40~100cm)が入網。
- 10月5日までの情報では石川県まで大量入網が確認され、漁業被害も発生しています。
- ・9月29日~10月4日、石川県の定置網4ヶ統に1ヶ統あたり1,200~5,000個体(傘径50~100cm)が入網。

(資料:(社)漁業情報サービスセンター <http://www.jafic.or.jp/kurage>)

**沿岸各地の水温**

日本海 20 台  
陸奥湾 19 ~ 21 台

今回は大部分の地点で降温しており、平均前回差は -0.3度となりました。

昨年と比べると、日本海側で -0.5度、津軽海峡側で -0.4度、陸奥湾内で -0.5度、太平洋側で +0.4度となっており、平均昨年差は -0.2度です。

平年と比べると、各地とも平年並となり、平均平年差は +0.2度となりました。

(10月1~5日)

津軽海峡 19 ~ 21 台  
太平洋 18 ~ 20 台

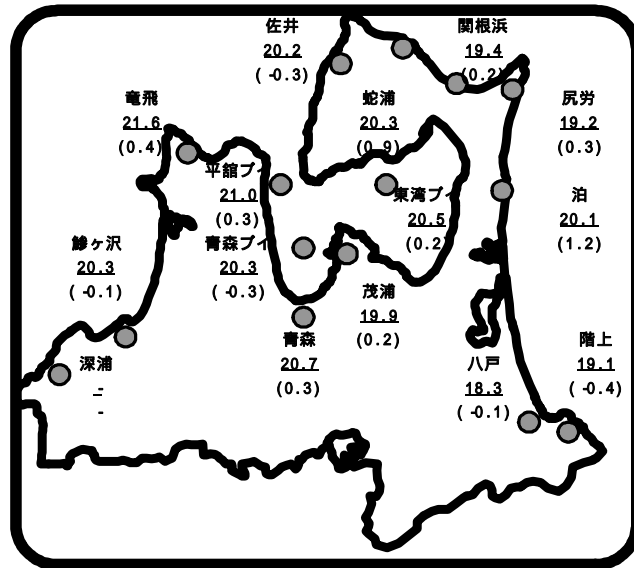


図 定地水温(10月1~5日)  
平均値(平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	-	-	-	-
鯨ヶ沢	20.3	-0.1	-0.5	-1.0
竜飛	21.6	+0.4	+0.3	-0.8
佐井	20.2	-0.3	-0.9	-0.1
青森	20.7	+0.3	-0.5	+0.0
蛇浦	20.3	+0.9	-0.2	+0.2
関根浜	19.4	+0.2	-0.7	-0.2
尻労	19.2	+0.3	+0.6	-0.4
泊	20.1	+1.2	+0.9	-0.2
八戸	18.3	-0.1	+0.6	+0.0
階上	19.1	-0.4	-0.4	-0.4
茂浦	19.9	+0.2	+0.1	-0.9
平館ブイ	21.0	+0.3	-0.2	+0.2
青森ブイ	20.3	-0.3	-1.3	-0.3
東湾ブイ	20.5	+0.2	-0.7	-0.4
平均	20.1	+0.2	-0.2	-0.3

**太平洋の海況 (10月4日~10月5日)**

概況; 沿岸水温は19 台

太平洋沿岸域の表面水温 19 台で前回と変わっていません。昨年同期と比較するとほぼ同じ水温です。

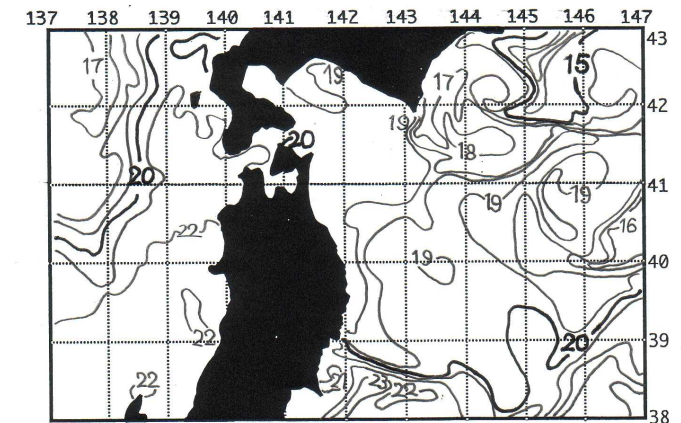
津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 19 等温線で見ると東経 143 度付近までで、張り出しは前回と変わっていません。

親潮系冷水の南下 19 等温線で見ると北緯 38 度 40 分付近までで、張り出しは前回よりも強くなっています。

**日本海の海況 (10月4日~10月5日)**

概況; 沿岸水温は21 台

日本海沿岸域の表面水温 21 台で、前回よりも1度ほど降温しました。昨年同期と比較するとほぼ同じ水温です。



資料:(社)漁業情報サービスセンター  
北部太平洋海況情報 第53号 10月6日

**大戸瀬沖の平均水温 (ブイのデータ: )**

期間	1m層水温	10m層水温	20m層水温
10月1~5日	21.82	21.68	21.81
前回差	-0.31	-0.28	-0.22

**試験船情報**

試験船東奥丸は10月13日から、太平洋でアカイカ漁場調査を行う予定です。

試験船青鵬丸は9月29日から30日まで日本海の沿岸定線観測を行いました。観測結果は右表のとおりで、表面最高水温がやや高め、50m層最高水温がやや低めで、対馬暖流幅は船作線でかなり広めとなっていました。対馬暖流の勢力としては平年並であったものと思われます。

**平成18年度第3回日本海海況予報**

独立行政法人日本海区水産研究所は10月4日、関係機関の情報をとりまとめ、以下のような予報を発表しました。

今後の見通し(2006年10月~12月)

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は、ほぼ停滞する。能登半島北方及び佐渡島沖の暖水域は、1つにまとまって北東に移動する。山形沖の暖水域は、北に移動する。
- (2) 島根沖及び山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや強い。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。入道埼沖の冷水域の張り出しは、弱い。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、"やや高め"で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では"やや低め"、北部では"平年並み"で経過する。

対馬暖流流勢指標10月

		2002	2003	2004	2005	2006	平年差	平年比
各層最高水温( )	0m	22.8	20.6	23.7	22.8	22.7	0.60	61
	50m	19.28	20.96	22.21	17.05	18.91	-1.36	-72
	100m	15.44	15.9	15.99	12.86	13.87	-0.05	-3
流幅(マイル)	船作線	48.8	59.5	69<	22.3	57.6	18.0	149
	十三線	44.8	83.5	90<	47.9	52.4	-0.1	-1
水塊深度(m)		183	185	275	157	193	6	19
北上流量		2.94	3.59	0.97	2.32	2.44	-0.24	-26

9月29~30日;青鵬丸